

の・ほ・ほん  
紀行

嬉野温泉

# 美肌のために 嬉野温泉三昧

## 祈れば つるつる美肌に

「日本三大美肌の湯」の一つ嬉野温泉の泉質はナトリウムが多い重曹泉。無色透明、無臭でぬめりがあります。この泉質が肌にびたつとまとわりつき、角質化した皮膚をしっとりなめらかにして、みずみずしい美肌に仕上げてくれます。体の芯まで温まれば肌もほぐれます。

温泉地として長い歴史があるだけに町は美肌一色。泉質以外にも美肌効果を与えてくれるものが町に揃っています。嬉野温泉街の中心にあるのは豊玉姫神社。祀られている豊玉姫は海の神の娘・竜宮城の乙姫様で肌が白く美しかったことから「美肌の神様」として、人々に知られています。境内の中央のなます社に鎮座する1.1mの白い「なます様」は豊玉姫の使い。水をかけ、白い「なます様」をしつかりなでて、祈れば美肌に「ご利益があること間違いなし」かも。

美肌のためには肌の血行をよくするのが一番。手っ取り早いのが足湯。「湯宿広場」と「湯遊広場」にはあし湯が整備されており、営業時間内であれば何時間いてもOK。ちなみにココで出会ってカップルになった人もいます。縁結びの神もこっそり見守っているのかもしれない。



美肌の湯の源泉そのものをミスト化した、全国的にも珍しいあし蒸し湯も好評



白なますには美肌だけでなく、皮膚病にもご利益が...



観光客と地元の人との触れ合いの場でもある「シーボルトのあし湯」



当時の旅館には内湯がなく、宿泊客は誰もが古湯温泉を利用したそうだ。浴場内には全国各地のお国言葉が響いていただろう。大正時代によくやく旅館に内湯ができる。

湯治場の役割は昭和に入っても続くが、昭和30年代、高度成長期に団体客が押し寄せ、湯治場の機能は薄れていった。「当時、芸者衆が300人もいて賑わっていた」と当時を知る長老は振り返る。

バブル経済がはじけると「団体」から一氣に「個人の満足」へシフト。時代とともに嬉野温泉の様子も変化していく。

しかし、どんなに時代が変わっても変わらないものがある。それは神功皇后が発見した時から続いていた嬉野温泉の泉質のよさだ。その大切な恵みを原点に、おもてなしの心を磨き続けてきた。その結果、かつて男の町と言われた嬉野温泉には、今では女性が男性を連れてくるようになった。

もてなしの心は障がい者にも健常者にも、外国人にもすべての人に向けられる。全国有数のUD(ユニバーサルデザイン)温泉地だ。乳がん患者が手術後、遠のきがちな大浴場の温泉につかり、体験や悩みを語り合う「ほっとマンマイン嬉野」も行う。

嬉野温泉は安心して心身を開放できる癒しの湯治場として訪れる人を温かく迎え入れている。

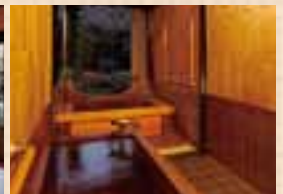


地元の人に親しまれる嬉野温泉のシンボル

自宅で気軽に嬉野温泉が楽しめる  
入浴剤「日本の名湯 嬉野」



嬉野温泉水やうれしの茶のエキスを使った  
美肌オリジナル商品で肌にやさしく



すべてのひとにやさしいバリアフリー対応の客室

日帰り美肌美人になりたいという人に  
重宝なのが公衆浴場「シーボルトの湯」。  
塩田川沿いにオレンジ色が際立つ「トンガリ  
屋根」の洋風な建物には湯を楽しむ人が  
多く訪れてにぎわい、嬉野温泉のシンボル  
になっています。「シーボルトの湯」は藩営  
浴場があったところで、佐賀藩主一族も  
訪れていたといえます。長崎から入った  
オランダ人医師ケンペルやシーボルトも  
利用した記述があり、冷泉が多いヨーロッパ  
に比べて、90度の温泉が沸き出す嬉野温泉  
を不思議に感じていたようです。浴場には  
バリアフリー対応の貸し切り湯もあります。  
嬉野温泉の宿にあるバリアフリー対応室数  
は全国トップクラスです。部屋や段差など  
ハード面だけでなく、旅館に外国語を話せる  
スタッフを常駐したり、外国人などすべて  
の人が安心して美肌の湯を楽しめるように  
配慮しています。

せっかく嬉野温泉で美肌をゲットしたら、  
自宅でも徹底的に嬉野温泉三昧。嬉野温泉  
旅館組合「おかみの会」の女将たちが自ら  
試して納得してオリジナル商品にした  
のが、嬉野温泉を使った「美肌湯けむり嬉野  
石鹸」「うれしのほほん嬉野温泉化粧水」  
です。自宅に戻ったら、ぜひ化粧水と石鹸で  
美肌を保ち続けてください。自宅のお風呂  
を嬉野温泉に早変わりさせる「日本の名湯  
嬉野」もあります。どっぶり嬉野温泉生活を  
送ってみてはいかが。

## 女将たちが試して納得 のオリジナル美肌商品

### column.02

#### 佐賀嬉野バリアフリーツアーセンター

「ひとにやさしいまちづくり」を目指す嬉野温泉。バリアフリーが進んだ旅館や商店の紹介のほか、車いす対応や多機能のトイレが単にどこにあるかだけでなく、広さ、付近の段差、スロープの角度、ドアの形状など細かいところまで調べたユニバーサルデザインマップを作成するなど、障害者だけでなく、高齢者、ベビーカーが必要な子どもがいる家族が安心して楽しめるように情報を提供しています。



のほほん  
マップ

嬉野温泉観光協会  
バリアフリー  
ツアーセンター



●お問合せ/☎0954-42-5126